

事務事業名		観光施設管理事業		所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	佐藤保興	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2421
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。	0 1 3 5 0 1	中事業 中事業名	観光施設管理事業	
				0 5 2 0 0 1	中事業 中事業名	観光施設管理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	市内観光施設の管理及び維持 ・大東 みはらし広場 ・大東 八雲山文学碑の径 ・木次 駐車場(4箇所) ・木次 天が淵、おろち、八本杉公園 ・木次 長寿の福竹 ・三刀屋 城跡公園 ・三刀屋 雲見の滝 ・三刀屋 観光施設公衆トイレ(2箇所) ・三刀屋 三刀屋河川敷公衆トイレ ・吉田 たたら山内公衆トイレ ・掛合 城山公園 ・掛合 釈智輪上人堂

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) ①電気代、上下水道料の支払 ②借地料の支払 ③管理委託契約の締結及び支払 ④施設等修繕 25件		30年度計画(30年度に計画する主な活動) ①電気代、上下水道料の支払 ②借地料の支払 ③管理委託契約の締結及び支払 ④施設等修繕			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
ア	施設管理委託件数	件	H28~ 所管変更	11	13	13	
イ	修繕件数	件	H28~ 所管変更	13	25	中事業 変更	
ウ	借地契約件数	件	H28~ 所管変更	5	8	8	
エ	支払件数	件	H28~ 所管変更	180	230	220	

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①市外からの入込客 ②管理対象物件	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		イ	観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
		ウ	管理対象物件	ヶ所	H28~ 所管変更	17	18	18
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	①観光してもらう ②適正管理する	ア	日本の人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
イ		観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0	
ウ		観光消費額	百万円	4,023	4,164	未確定	4,300	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【報償費】4千円、【旅費】4千円 【消耗品費】407千円、【燃料費】85千円 【光熱水費】730千円、【修繕費】1,526千円 【通信運搬費】3千円、【手数料】600千円 【委託料】2,983千円、【使用料】79千円 【賃借料】1,732千円、【備品購入費】26千円	事業費	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	H28~所管変更	4,882	8,179	8,846
	事業費計(A)	千円		4,882	8,179	8,846
	人件費	正規職員従事人数	人		8	5
	延べ業務時間	時間		320	300	
	人件費計(B)	千円		1,269	1,223	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		6,151	9,402	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・中国横断自動車道尾道松江線開通に伴い、広島県域から島根県への観光入込客が増加している。 ・道の駅「たたら壱番地」から雲南市内観光施設への誘導が課題となっている。	・平成27年度までは、総合センター事業管理課で維持管理を行ってきたが、組織機構改革によって平成28年度より産業振興部産業施設課が所管となった。 ・平成29年度以降については、全市的な考え方から中事業の整理を行った。 ・平成30年度から修繕を別事業に集約。	・市民や利用者から、修繕について要望がある。 ・議会から、観光施設の適正な維持管理を求められている。

事務事業名	観光施設管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市内観光施設の維持管理事業であり、これ以上の向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	独立した施設であるため、個々に管理しなければならず、統廃合はできない。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、最低限の維持管理であり、削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、最低限の維持管理でありこれ以上は削減出来ない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市の施設であるので、市の予算で管理することは適正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	観光施設の維持管理委託により苦情はなかった。対応できる範囲での修繕を行った。
		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
希少な観光資源を守るために最低限の維持管理であり、現状維持が必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																		